

病虫害発生予察情報予報第 10 号 (1 月の予報)

佐賀県農業技術防除センター

I. 予報の概要および各作物の特記事項

作物名	病虫害名 ^{注1)}		1 月の予想発生量 ^{注2)} (平年比)	予報対象の病虫害 (抜粋)
タマネギ	べと病	早生マルチ	並	 タマネギ べと病 一次感染株
		中晩生	並	
	1. べと病 一次感染株 (越年罹病株) は、1 月頃から発生し始める。圃場をこまめに見回り、一次感染株を発見した場合は、速やかに抜き取り、圃場外へ持ち出して処分する。			
施設果菜類	1. 病害全般 (灰色かび病、菌核病、すすかび病、葉かび病、べと病、うどんこ病、疫病、褐斑病) こまめな換気とともに、循環扇や加温機を活用し、施設内の湿度低減を図る。また、発病部位の早期除去、予防的な薬剤防除を組み合わせることで防除を行う。			
イチゴ (本圃)	ハダニ類		やや少	 ハダニ類
	うどんこ病		やや少	
	灰色かび病		やや少	
	アブラムシ類		並	
	1. ハダニ類 一部の圃場で多発生している。春期はさらに増殖しやすく、防除が困難となる。早期発見、早期防除に努める。 2. 薬剤散布におけるミツバチへの危害防止 薬剤散布を行う際はミツバチの巣箱を圃場外に持ち出し、ミツバチがハウス内に入らないようにする。(導入可能日数は総合防除計画参照)			
トマト	葉かび病		やや少	 黄化葉巻病
	灰色かび病		少	
	コナジラミ類		多	
	1. コナジラミ類：黄化葉巻病、黄化病 幼虫・蛹の寄生の多い下葉を除去し、密度を下げたうえで、薬剤防除を実施する。ウイルス病の罹病株を認めた場合は、早急に除去処分する。			

作物名	病虫害名 ^{注1)}	1月の予想発生量 ^{注2)} (平年比)	予報対象の病虫害 (抜粋)
キャベツ	菌核病	やや少	 キャベツ 菌核病
	黒腐病	やや少	
	アブラムシ類	やや少	
	チョウ目害虫	やや少	
	1. 菌核病 発病株に形成された菌核は次作の伝染源となるため、早期発見に努め、発病株は圃場から除去して土中に深く埋設するなどして適切に処分する。		
キク	白さび病	並	 ハダニ類
	アザミウマ類	並	
	アブラムシ類	並	
	ハダニ類	並	
	ハモグリバエ類	並	

注1) 病虫害名に網掛けをしたものについては、予報の根拠とした内容を記載しています。

注2) 予想発生量については、平年との比較により記載しているため、実際の発生量とは相違を生じる場合があります。例えば、例年の発生量が少ない病虫害について「平年より多い」と予想した場合であっても、実際の発生量は多くない場合があります。

注3) 防除対策については「佐賀県病虫害総合防除計画」も参照してください。

病虫害総合防除計画掲載アドレス

https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji003101844/index.html

QRコード→



II. 予報の内容・根拠等について

予報内容（来月の予想発生量）

- 平年（過去10年間）と比較し「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。
なお、少発生が予想される病害虫等については、予報の概要のみの記載となる場合があります。

予報内容の根拠

- 農業技術防除センターが実施する県内各地での調査、防除員の調査、予察灯・トラップでの誘殺状況調査等に基づく発生現況、気象予報からみた病害虫の発生条件等を基に、関係者による発生予察会議で決定します。
○ 発生現況および気象条件が来月の病害虫の発生に及ぼす影響については、(－)：少発生、(－～±)：やや少発生、(±)：並発生、(±～＋)：やや多発生、(＋)：多発生として示しています。

防除上注意すべき事項

- 各病害虫を防除する上で特に注意すべき事項等を記載しています。なお、全般的な防除対策については「佐賀県病害虫総合防除計画」をご参照ください（2ページの注釈にリンクが有ります）。

写真

- 1～2ページ目：予報で対象とした病害虫を抜粋して掲載しています。
4ページ目以降：定期調査時の各作物の生育状況を掲載しています。

1月の気象条件

- 病害虫の発生に関与する1月の気象条件については、福岡管区気象台発表の1ヶ月予報（令和6年12月19日）を基に、「気温：平年より低い」、「降水量：平年より少ない」と判断しています。

気象予報による要素別確率(%)及び病害虫の発生に関与する気象条件

要素	1ヶ月予報における1月の気象予報（確率予報%）			病害虫の発生に関与する気象条件（平年比）
	低い(少ない)	平年並 (佐賀市の平年値)	高い(多い)	
気温	50	40 (5.8℃)	10	低い
降水量	50	30 (54.1 mm)	20	少ない

Ⅲ. 1月の予報

タマネギ

[【概要に戻る】](#)

定期調査 19 圃場、防除員 4 圃場
調査日：12月16～23日

1. ベと病

1) 予報の内容

【早生マルチ】発生量：平年並

【中 晩 生】発生量：平年並

2) 予報の根拠

(1) 発生の現況

① 定期調査 (図1、図2)

【早生マルチ】 発生株率：0% (平年0%、前年0%)、平年比：並 (±)

【中 晩 生】 発生株率：0% (平年0%、前年0%)、平年比：並 (±)

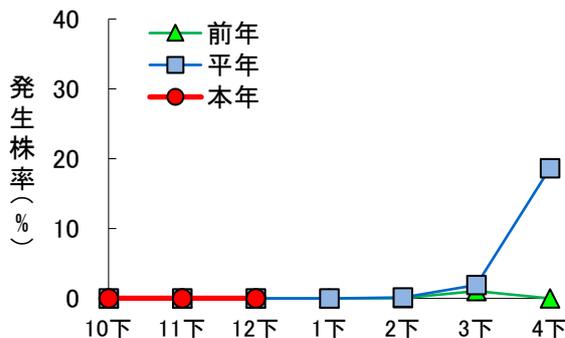


図1 早生タマネギでのべと病の発生推移

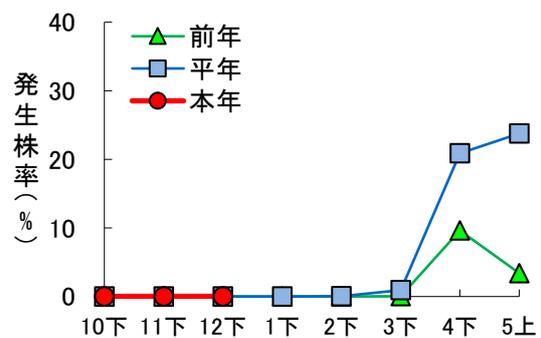


図2 中晩生タマネギでのべと病の発生推移

(2) 圃場の菌密度

平成25年以降、発生株率・発生圃場率ともに高い傾向が続いており、本圃の菌密度は高いと推察される。
(±~+) (図3参照)

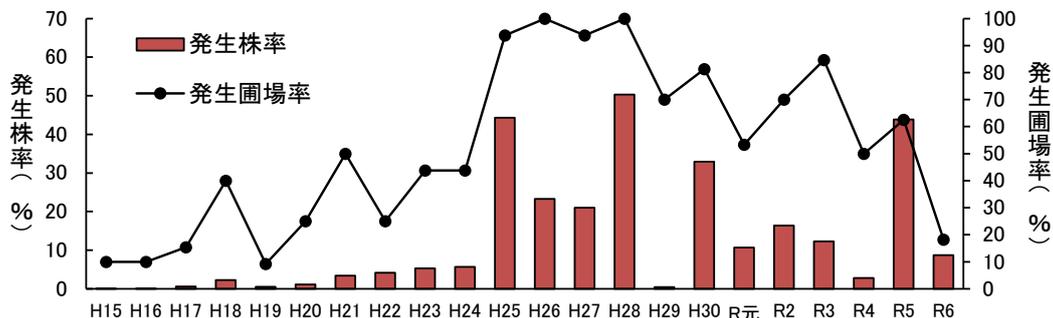


図3 タマネギ本圃でのべと病の発生圃場率と発生株率の年次推移 (4月下旬の定期調査結果)

(3) 1月の気象条件

降水量は少なく、少発生の条件 (一)

3) 防除上注意すべき事項

(1) 一次感染株 (越年罹病株) は、1月頃から発生し始める。圃場をこまめに見回り、一次感染株を発見した場合は、速やかに抜き取り、圃場外へ持ち出して処分する。

イチゴ（本圃）

[【概要に戻る】](#)

定期調査 10 圃場、防除員 6 圃場
調査日：12月16～19日

1. ハダニ類

1) 予報の内容

発生量：平年よりやや少ない

2) 予報の根拠

(1) 発生の現況

① 定期調査（図1参照）

発生株率：9.3%（平年18.4%、前年18.4%）

平年比：やや少（-～±）

3) 防除上注意すべき事項

(1) 多発すると防除が困難になるので、早期発見、早期防除に努める。

(2) 薬剤防除の際は、葉裏にいるハダニ類に確実に薬液がかかるように、株全体に十分量を丁寧に散布する。

(3) 天敵を放飼した圃場であっても、ハダニ類の増加を認めた場合は、天敵に影響の小さい薬剤による防除を行う。

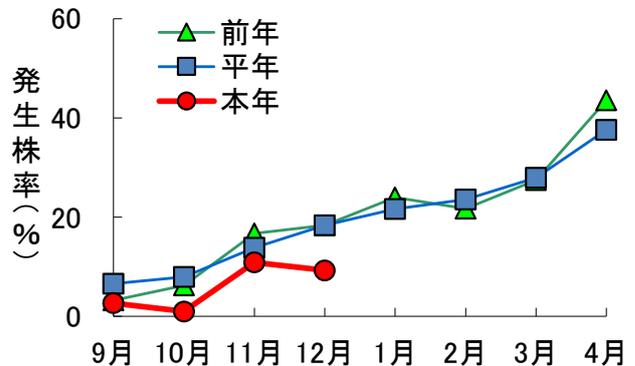


図1 ハダニ類のイチゴでの発生推移

2. うどんこ病

1) 予報の内容

発生量：平年よりやや少ない

2) 予報の根拠

(1) 発生の現況

① 定期調査（図1参照）

発生株率：0%（平年2.4%、前年0%）

平年比：やや少（-～±）

(2) 1月の気象予報

降水量は少なく、少発生の条件（-）

3) 防除上注意すべき事項

(1) 約10～14日間隔の薬剤防除を徹底する。

(2) こまめな換気とともに、循環扇や加温機を活用し、施設内の湿度低減を図る。また、発病部位の早期除去、予防的な薬剤防除を組み合わせる。

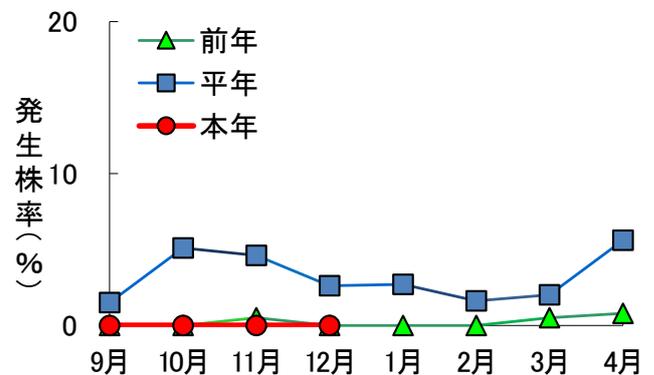


図1 イチゴうどんこ病の発生推移

トマト

[【概要に戻る】](#)

定期調査：6 圃場、防除員 4 圃場
調査日：12月16～18日

1. コナジラミ類

1) 予報の内容

発生量：平年より多い

2) 予報の根拠

(1) 発生の現況

①定期調査（図1参照）

発生株率：16.0%（平年4.4%、前年7.5%）

平年比：多（+）

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 幼虫・蛹の寄生の多い下葉を除去し、密度を下げたうえで、薬剤防除を実施する。
- (2) ウイルス病の罹病株を認めた場合は、早急に除去処分する。

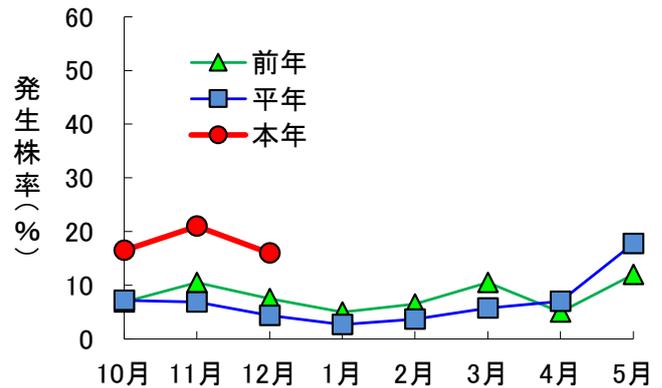


図1 コナジラミ類のトマトでの発生推移

キャベツ

[【概要に戻る】](#)

定期調査 8 圃場
調査日：12月16日～18日

1. 菌核病

1) 予報の内容

発生量：平年よりやや少ない

2) 予報の根拠

(1) 発生の現況

①定期調査（図1参照）

発生株率：0%（平年0.1%、前年0.1%）

平年比：やや少（-～±）

(2) 1月の気象予報

降水量は少なく、少発生の条件（-）

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 発病株に形成された菌核は次作の伝染源となるため、早期発見に努め、発病株は圃場から除去して土中深くに埋設するなどして適切に処分する。

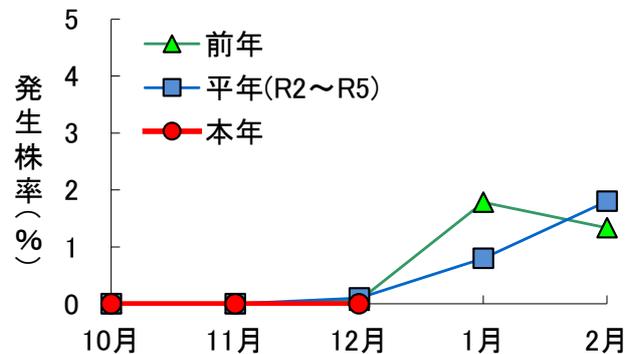


図1 キャベツ菌核病の発生推移

定期調査 8 圃場
調査日：12月16～18日

1. 白さび病

1) 予報の内容

発生量：平年並

2) 予報の根拠

(1) 発生の実況

① 定期調査 (図1 参照)

発生株率：0% (平年 2.8%、前年 0%)

平年比：並 (±)

(2) 1月の気象予報

降水量は少なく、少発生の条件 (←)

3) 防除上注意すべき事項

(1) こまめな換気により適正な湿度管理に努めるとともに、発生前からの定期的な薬剤散布を実施する。

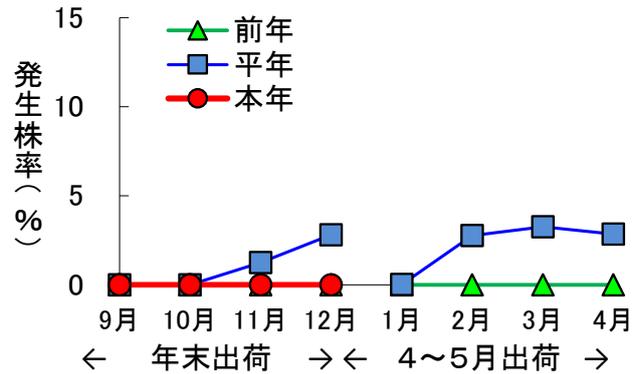


図1 キク白さび病の発生推移

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病虫害防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085

Mail nougyougi_jutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00321899/index.html

病虫害総合防除計画掲載アドレス https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji003101844/index.html

防除セ QRコード



防除計画 QRコード

